

まつぼっくり



宇城市立三角小学校
学校だより 第32号
文責 校長 西村羊治
令和7年8月7日

学校教育目標「支え合い・学び合い、多様な達成感を体感し、ふるさとを愛する児童の育成」

～当たり前のことをきちんとやる人材育成をととして～

貴重な体験

8月5日(火)、熊本県立劇場コンサートホールにて「第92回NHK全国学校音楽コンクール熊本県コンクール」が開催されました。6年生33人は、体調を崩す子もいましたが、全員が会場にそろえることができました。また、多くの保護者の方々、指導に何回もかけつけてくださった下川先生、港まつりや防災拠点センターでも視聴してくださった濱田様、複数の学校職員も、子どもたちの晴れ舞台を見守ってくれました。リハーサルに向かう前に6年生に会うことができました。みんないい目、いい表情をしていました。指揮者の本村教諭も。みんなが服装をそろえ凛々しい姿が印象に残っています。出場校はフリー参加も含めて7校です。少ないと感じる方もいると思いますが、レベルはとても高いです。中でも学級や学年での参加は、本校と碩台小学校の2校のみで、それ以外はクラブチームや部活動です。多くが3年生から6年生のチームで、6年生ともなれば合唱のキャリアは4年目になるわけです。そんな強豪校とのコンクールです。結果は、銅賞でしたが本当にすばらしい歌声でした。



ステージに立つ6年生

私が校長として嬉しかったことはいろいろありますが、33人全員で1つの目標に向かったことです。そして、一生懸命さと素直さがあり、誰もが応援したくなる集団であったことです。本校の全職員、保護者様、下川先生、濱田様、地域の方等、多くの方

表彰式 声の大きさは金賞



が応援団でした。さらに、たったの2ヶ月で常連校に遜色ないレベルにまでになった6年生の「毎日のがんばり」です。この努力を続けたことで、歌うことはもちろん、感謝、あいさつ、返事、協力、努力など多くのことでの「成長」が一人一人に見られました。この成長は、必ず次に繋がります。6年生の見事な頑張りに大きな拍手を送ります。校長としてわくわくする日々を、本当にありがとうございました。

貴重な体験

8月7日(木)、三角町の特別養護老人ホーム「豊洋園」で半日のワークキャンプがありました。5・6年生の7名が参加しました。理事長の石川様のお話、総務次長の西村様の説明、社会福祉協議会の高松様の説明、豊洋園職員の荒竹様の指導による具体的な体験活動、充実した半日となりました。高齢者の疑似体験では、装具やメガネ、イヤーマフなどを付けて、体を重くし周りを見えにくく音を聞きにくくし、実際に歩いてみました。また、車いすや電動ベッド等の介護器具の使い方や介助の仕方などを具体的に学びました。高齢者との実際の交流はできませんでしたが、貴重な体験になったことは間違



石川理事長様のお話

違いありません。また、詳しく説明してくださった西村様が、「素直で明るく、いい子供さんばかりですね。」とおっしゃいました。校長としてとても嬉しく、図々しく「そうなんですよ。」と本音を言っていました。

貴重な体験をさせていただいた石川理事長様はじめ豊洋園の方々、そして、高松様、お忙しい中にありがとうございました。



疑似体験